

アンケートのまとめ

講演「安全衛生について」について

- 現場でしか体験出来ない話等を交えながらの講義は大変面白かった。
- 重大な事故を起こさないためにも今後仕事においては危険予知を十分行う必要があると思った。
- もっと災害事例などの話も聞きたかった。
- 本人は気を付けていても事故に巻き込まれることもあるので、「自分の身は自分で守る」ことはもっともだと感じました。また、作業をする際、どんな危険があり、どのように処置するかを常に考えておく必要があると感じた。
- 法律と現場を熟知されている茶園先生のお話は、上っ面だけではなく、ダイレクトに伝わってきました。「先人の血で書かれた法律」という言葉が一番心に残りました。ゆえに、これ以上の血は流さないように努めていこうと思います。「自分の身は自分で守る」が一番基本で、一番大切と思いました。
- 色々な事例紹介を含めた内容だったので興味深く聞くことが出来ました。安全衛生法違反は「死」に直結することを強く意識しました。
- テキストが私にとっては難しく体系的に理解があまり出来なかった。
- 話し方も明快で聞きやすく、わかりやすい講演であった。また、豊富な実経験を紹介していただき、勉強になるとともに貴重な講演を聞かせていただいた。やはり直接聞くことにより、それぞれに感じ、考えることも大きいと思うし、貴重な講演でもあるので、できれば、もっと多くの組合員を対象にセミナーを開催すればどうかと思う。場所の問題なども

あるが、例えば、組合員にもセミナーの開催を公示し、聴講希望者は常議員と共に参加を認めるなどしてはどうか。但し、本来なら会社がすべきものであるので、どこまで組合がすべきか難しい。

- 講演の内容はとても聞きやすく、これまで色々な講習等で聞いた内容を踏襲されていたので、また新たな気持ちで聞き入れやすかったと思います。特に生ける法としての安衛法は、播磨製作所では結構根付いていると思いますが、現地工事などで働いている環境、気熱の若い現場監督者にも聞かせてあげたかった。
- たいへん参考になった。後半の「職場環境における安全衛生」についてももう少し具体的に聞きたかった。
- 安全は法律等で守られている事がよくわかった。
- 法律の解釈が非常に難しく、わかりづらかった。
- 安全について軽視しているところがあり、「自分の身は自分で守る」ということを改めて考えさせられた。
- 最後まで興味深く拝聴させていただいた。ただ、時間不足のためか安全基準の成り立ちに関する話が多く、実際の運用部分が少ない気がしたので、次回に期待したい。
- 今まで安全衛生について、知識もなかったし、意識もしていなかった。講演を聞いて、普段からもっと意識するよう決意した。
- お話がとても上手だったので、集中して最後まで聞くことができた。「労働衛生とは何ぞや」というのを知ることができて、とても有意義な時間でした。
- 現在私は現場代理人という立場で仕事をして

いますので、興味深く聞かせていただきました。特に、工場法 労働基準法 労働安全衛生法と移り変わっていく話や、危険に対する感性を育てていかなければいけない等、監督という立場で作業員に伝えるヒントをいただきました。

- 講演の雰囲気は堅くなく、気さくな感じで、聞き易かった。しかし講演内容が安全衛生に関する具体的な話になると、とても難しく、特に法律・制令がわかりにくかった。
- 過去の事例を取りまとめ説明されたのでわかりやすかった。ただ、安全について100%ということは無いと感じた。
- 監督署の仕事の内容、権限等を知ることが出来てよかった。
- 災害事例等も分かり易かった。
- とても興味深く、楽しく拝聴できました。特に実話を交えた部分など強く印象に残り、安全衛生に対する意識向上ができそうです。
- 実例を交え、大変わかりやすく概論を説明いただいたと思います。
- 難しい法律や歴史をわかりやすく聞かせていただき、とても役に立つ講話だった。
- 一番印象に残ったことは、「先人の血で書かれた…」という内容でした。前の方が流した血で規則ができた等々。当社においても最近では類似災害が発生していないと思います

が、未だヒヤリなどは改善ができておらず同じ繰り返しをしていることもあります。本当に血を流してから改善するのではなく、何とかそれ以前に改善をしていきたいです。次に「自分の身は自分で守る」ことが最も大事であると感じていますが、もちろん個々人が認識している安全レベル（経験・知識）が違いますから危険に対する感性がまったく違うとも思います。この感性をいかに皆が持ち合わせることが必要だと感じています。

- ざっくりばらんな生のお話で楽しく聞くことができた。
- メリハリのある講演で、聞きやすく、理解しやすかった。

次回開催の研修会「危険予知トレーニング」 「健康管理、メンタルヘルス」 に期待すること

- 事務所での業務であり、日頃から危険に関することに気を使わず生活しているため危険予知トレーニングと言っても全くイメージがわからない。ただ本トレーニングを行うことにより日頃の生活並びに会社での事故防止に役立てたい。
- 健康管理、メンタルヘルスに関しては特に注意して生活をしていないが、日頃の生活レベ



ルの観点から自己健康管理方法等を勉強していきたい。

- 周りにどのような危険が潜んでいるのかを考えるいい機会だと思う。
- 危険予知トレーニングは、現場作業の経験がほとんどないので、良い機会だと思います。健康管理、メンタルヘルスは、「過労死」や「うつ」のような現在の問題点について聞くことができればと思います。次回の茶園先生のお話を期待しています。
- 事務所作業の中で危険予知をどのように行うのが習得したいと思います。初めての体験なので期待しております。
- もう少し図式いただくなどの工夫をいただければありがたいです。
- 安全といえば、どちらかというと現業部門が中心と考えがちであるが、各職場においても危険は存在しており、最近では世の中でメンタルヘルスなども重要視されているので個人としてのみで無く、今後、職場で活用できる内容のセミナーを期待している。
- 今回の講演は非常に茶園氏の話し方にもよるところが多いのですが良かったと思います。何が良かったかという、参加者のほぼ全員が聞き入れやすい話し方で話されていた。第1回目ということでインパクトは、抜群だったのではないのでしょうか。2回目からは、広く浅くではなく、深く鋭い講演を期待します。
- 職場、現場で実際に役立つものとして継続して行って欲しい。
- 危険予知について実例に基づいた話を聞きたい。
- わかりやすく、実際に即したトレーニングを期待します。
- 考え方だけでなく、具体的に何をすればよいかを説明いただきたい。
- 私達はそのような話を聞く機会自体が皆無のため、よい経験になると思っています。
- 最近落ち込みやすいので、メンタルヘルスの講義を是非お願いします。

- 講演のみよりも実習を交えたものを期待します。
- 特に健康管理、メンタルヘルスに期待します。昨今過労死が増えており自分もその心境に近づいていますので対策等を大変期待します。
- 今まで以上に安全について考えていると思われる。今後100%の安全は無いと思うので頑張りたいと思う。
- 現実に即出来るような「危険予知トレーニング」の講演であることを望みます。
- 危険予知では予知のコツ、健康管理では過労死に対する労使間の責任所掌などの話を期待しています。
- 健康管理に関しては、実際の生活で実践できる内容を期待します。少ない時間で、効果が有り持続できるようなもの等。
- 外部研修とはひと味違う講演、研修を期待しています。
- 実際にあった災害事例などを活用し、類似災害を撲滅できるようなトレーニングまたは講演を聴きたい。健康管理は自分自身が管理することであると思いますが、メンタルヘルスについては、今後、上司（監督者）として何を求められているのかなどを聞きたい。
- 机上の空論ではなく具体的な話が聞きたい。
- 身近な話題として関心が持てるような内容を期待します。

安全衛生に取り組む抱負や 意気込みについて

- 自分の作業場から事故災害を起こさないように未然に処置していきたい。
- 日常業務で忘れがちな危険予知、5Sなど今まで以上に意識し、職場の同僚や自分自身が安全に作業できる環境を作っていきたい。
- 「自分の身は自分で守る」が一番大事だと思います。労対委員としては、「みんなの身はみんなを守る」を心がけてゆこうと思います。
- 「自分の身は自分で守る」という基本を思い

出しました。安全衛生というと難しい、または自分の職場には関係無いという意識が強かったのですが、この言葉を聞いてそうではないことを認識しました。

- これから東京ブロックでは本格的に取り組んでいく事になりますが、早く理解を深めて他事業所と同レベルに近づけるよう努力していきたいと考えます。
- 私の職場では、死傷を伴う災害よりもストレスなどによるメンタル面でのケアが重要であると感じている。今後、労対委員として、そうした事に気を付けて対応していけるよう勉強していきたい。
- 「自分の身は自分で守る」といった事は解っているつもりなのですが毎日の仕事の中では、思い出すこともなく過ごしていると思います。感性を磨けと言っておられたのですが、もっともっと自分の感性を磨き、現場では不安全状態をなくすよう職場長やライン長に提言していけたらよいと思います。
- 職場の環境を見直していくことから始めたい。
- 現場に出ることが多いので事故がないよう十分気を付けて行動したい。
- 頑張ります。
- 今回の講演を聞くまでは意識にもなかったので、他の組合員の方も同じような状況だと思

う。従って、そういう人たちを引っ張っていくのが我々の役割だと感じた。

- おかしいとか直したほうがよいと思うところは、包み隠さず提案していこうと思っています。
- 労対委員として新人なので、たくさんの事を吸収したいと思います。
- 自分のまわりから気を配るようにします。
- 安全に対する考え方は、今までと同じだと思いますが、方法・実行の仕方等が勉強していく中で取り込むことが出来るようにしたいと思っています。
- 労対委員として安全衛生に対する意識向上に努力していきます。
- 現場管理スタッフとして、事故が発生した場合、管理責任を問われる事をよく念頭に置き、厳しく指導を行っていききたい。
- 同僚や部下が労働災害に巻き込まれたり、起こさないようもう一度考え直し実行していききたい。
- 今後は安全知識（ルール）をできるだけ頭に入れながら作業に努めていきたい。また、労対委員としてまず自らが安全について意識を持ち役員として頑張っていきたい。
- 安全はまず自分から取り組むべきと感じた。
- 今まで関心が薄かったが、「自分の身は自分で守る」ことを肝に銘じてがんばりたい。

